

OFFICIAL MICROSOFT LEARNING PRODUCT

23331B

Microsoft® SharePoint® Server 2013 の
コア ソリューション

このドキュメントに記載されている情報 (URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む) は、将来予告なしに変更されることがあります。別途記載されていない場合、このドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものであります。実在する会社名、団体名、商品名、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、個人名、場所、出来事などとは一切関係ありません。お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用をお願いします。このドキュメントのいかなる部分も、米国 Microsoft Corporation の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

マイクロソフトは、このドキュメントの主題を対象とする特許、特許出願、商標、著作権、またはその他の知的所有権を有する場合があります。マイクロソフトからの書面による使用許諾契約に明示的に記載されていない限り、このドキュメントの提供により、これらの特許、商標、著作権、またはその他の知的所有権に対する使用許諾が付与されるものではありません。

記載されている製造元、製品、または URL は情報提供のみを目的としており、明示、黙示または法律の規定にかかわらず、マイクロソフトはこれらの製造元や、これらの製品をマイクロソフト テクノロジーと共に使用した場合の動作について保証を行うものではありません。製造元または製品に関する記載は、マイクロソフトがその製造元または製品を保証していることを意味するものではありません。このドキュメントには、第三者のサイトへのリンクが含まれている場合があります。リンク先のサイトはマイクロソフトが管理するものではなく、したがって、リンク先のサイトの内容、含まれるリンク、およびそのサイトの変更や更新について、マイクロソフトは責任を負うものではありません。また、リンク先のサイトから受信する Web キャストまたはその他の伝送形式についても、責任を負うものではありません。これらのリンクは、お客様の利便性を考慮して提供されているものであり、マイクロソフトがリンク先のサイトやそのサイトに含まれている製品を保証していることを意味するものではありません。

© 2014 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft および <http://www.microsoft.com/about/legal/en/us/IntellectualProperty/Trademarks/EN-US.aspx> に一覧する商標は、Microsoft 企業グループの商標です。その他の商標は各所有者の知的財産です。

製品番号 :23331B

リリース日 : 10/2014

マイクロソフト ライセンス条項

マイクロソフト インストラクター指導コースウェア

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 (以下、「本ライセンス条項」といいます) は、お客様と Microsoft Corporation (またはお客様の所在地に応じた関連会社。以下、「マイクロソフト」といいます) との契約を構成します。以下のライセンス条項を注意してお読みください。本ライセンス条項は、本ライセンス条項に付属しているコンテンツおよびコンテンツが記録されたメディアのお客様による使用に適用されます。トレーナーコンテンツ、ならびに本許諾コンテンツに関連する更新コンテンツおよび追加コンテンツに、別途固有のライセンス条項が付属していない場合は、それらの製品にも本ライセンス条項が適用されるものとします。それらの製品に固有のライセンス条項が付属している場合は、当該ライセンス条項が適用されるものとします。

本許諾コンテンツにアクセスするか、または本許諾コンテンツをダウンロードもしくは使用することにより、お客様は本ライセンス条項に同意されたものとします。本ライセンス条項に同意されない場合は、本許諾コンテンツにアクセスしたり、本許諾コンテンツをダウンロードまたは使用したりしないでください。

お客様が本ライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には取得された各ライセンスについて以下が許諾されます。

1. 定義。

- a. 「認定ラーニング センター」とは、マイクロソフト IT Academy プログラム メンバー、マイクロソフト ラーニング コンピテンシー メンバー、またはマイクロソフトが随時指定できるその他同様の法人を意味します。
- b. 「認定トレーニング セッション」とは、認定ラーニング センターにおいて、または認定ラーニング センターを通じて、トレーナーがマイクロソフト インストラクター指導コースウェアを使用して実施するインストラクター指導トレーニング クラスを意味します。
- c. 「クラスルーム デバイス」とは、認定ラーニング センターが所有または管理する、認定ラーニング センターのトレーニング施設にある 1 台のセキュリティで保護された専用コンピューターで、特定のマイクロソフト インストラクター指導コースウェアに指定されているハードウェア レベルを満たすか、または超えているものを意味します。
- d. 「エンド ユーザー」とは、(i) 認定トレーニング セッションもしくはプライベート トレーニング セッションに正規に登録し出席している個人、(ii) MPN メンバーの従業員、または (iii) マイクロソフトの常勤従業員を意味します。
- e. 「本許諾コンテンツ」とは、本ライセンス条項に付属しているコンテンツを意味し、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアまたはトレーナー コンテンツが含まれる場合があります。
- f. 「マイクロソフト認定トレーナー」または「MCT」とは、(i) 認定ラーニング センターまたは MPN メンバーに代わって、トレーニング セッションにおいてエンド ユーザーを指導するために雇用されており、(ii) マイクロソフト認定資格プログラムに基づいてマイクロソフト認定トレーナーとして現在認定されている、個人を意味します。
- g. 「マイクロソフト インストラクター指導コースウェア」とは、IT プロフェッショナルおよび開発者を対象としてマイクロソフト テクノロジーについて指導する、マイクロソフト ブランドのインストラクター指導トレーニング コースを意味します。マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのタイトルは、

MOC、Microsoft Dynamics、またはマイクロソフト ビジネス グループ コースウェアとしてブランド化されている場合があります。

- h. 「マイクロソフト IT Academy プログラム メンバー」とは、マイクロソフト IT Academy プログラムのアクティブメンバーを意味します。
 - i. 「マイクロソフト ラーニング コンピテンシー メンバー」とは、現在ラーニング コンピテンシー ステータスを保持している、Microsoft Partner Network プログラムの有効なアクティブメンバーを意味します。
 - j. 「MOC」とは、IT プロフェッショナルおよび開発者を対象としてマイクロソフト テクノロジーについて指導する、マイクロソフト オフィシャル コースと呼ばれる「Official Microsoft Learning Product」インストラクター指導コースウェアを意味します。
 - k. 「MPN メンバー」とは、Microsoft Partner Network プログラムにおけるシルバーまたはゴールド レベルの有効なアクティブメンバーを意味します。
 - l. 「個人用デバイス」とは、お客様が個人的に所有または管理する、1 台のパーソナル コンピューター、デバイス、ワークステーション、またはその他のデジタル電子デバイスで、特定のマイクロソフト インストラクター指導コースウェアに指定されているハードウェア レベルを満たすか、または超えているものを意味します。
 - m. 「プライベート トレーニング セッション」とは、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアを使用して事前定義された学習目的に基づいて指導する、MPN メンバーが企業顧客に対して提供するインストラクター指導トレーニング クラスを意味します。これらのクラスは不特定多数の人々に対して広告または宣伝が行われず、クラスの出席者は企業顧客が雇用または契約している個人に限定されます。
 - n. 「トレーナー」とは、(i) マイクロソフト IT Academy プログラム メンバーが雇用した、認定トレーニング セッションを指導する学問上の認定を受けた教師、または (ii) MCT を意味します。
 - o. 「トレーナー コンテンツ」とは、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアを使用してトレーニング セッションを指導するためにトレーナーのみが使用するよう指定された、トレーナー版のマイクロソフト インストラクター指導コースウェアおよびその他の追加コンテンツを意味します。トレーナー コンテンツには、Microsoft PowerPoint プレゼンテーション、トレーナー準備ガイド、トレーナー育成用資料、Microsoft One Note パック、クラスルーム セットアップ ガイド、およびプレリリース コース フィードバック フォームが含まれる場合があります。言い換えると、トレーナー コンテンツには、いかなるソフトウェア、仮想ハード ディスク、または仮想マシンも含まれません。
2. **使用権。**本許諾コンテンツは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本許諾コンテンツは、**ユーザーごとに複製 1 部**が使用許諾されます。そのため、お客様は、本許諾コンテンツにアクセスする、または本許諾コンテンツを使用する各個人に対して、ライセンスを取得しなければなりません。
- 2.1 以下は、5 組の独立した使用権であり、お客様には 1 組のみが適用されます。
- a. **お客様がマイクロソフト IT Academy プログラム メンバーである場合。**
 - i. お客様自身に代わって取得された各ライセンスは、お客様に提供された形式でマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの複製 1 部を確認するためにのみ使用できます。マイクロソフト インストラクター指導コースウェアがデジタル形式である場合、お客様は最大 3 台の個人用デバイスに複製 1 部をインストールすることができます。お客様が所有または管理していないデバイスに、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアをインストールすることはできません。

- ii. お客様は、エンド ユーザーまたはトレーナーに代わって取得する各ライセンスについて、以下のいずれかを行うことができます。
 - 1. マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのハード コピー版 1 部を、提供しているマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの主題である認定トレーニング セッションの開始直前に限り、かかる認定トレーニング セッションに登録しているエンド ユーザー 1 名に頒布すること。または
 - 2. マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのデジタル版 1 部の一意の引き換えコード、および当該コースウェアにアクセスする方法に関する手順を、エンド ユーザー 1 名に提供すること。または
 - 3. トレーナー コンテンツ 1 部の一意の引き換えコード、および当該トレーナー コンテンツにアクセスする方法に関する手順を、トレーナー 1 名に提供すること。

ただし、以下の条項を遵守することを条件とします。

- iii. お客様は、本許諾コンテンツのみへのアクセス権を、本許諾コンテンツの有効なライセンスを取得している個人に提供するものとします。
- iv. お客様は、認定トレーニング セッションに出席している各エンド ユーザーが、かかる認定トレーニング セッションの主題であるマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの有効なライセンス取得済みの複製を各自持っていることを確認するものとします。
- v. お客様は、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのハード コピー版を提供する各エンド ユーザーに本ライセンス条項の複製 1 部が提示されること、および各エンド ユーザーにマイクロソフト インストラクター指導コースウェアを提供する前に、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのエンド ユーザーによる使用に、本ライセンス条項の条件が適用されることに各エンド ユーザーが同意することを確認するものとします。各個人が、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアにアクセスする前に、地域の法律に基づいて強制力を有する方法で、本ライセンス条項に同意する旨を示す必要があります。
- vi. お客様は、認定トレーニング セッションを指導する各トレーナーが、かかる認定トレーニング セッションの主題であるトレーナー コンテンツの有効なライセンス取得済みの複製を各自持っていることを確認するものとします。
- vii. お客様は、お客様のすべての認定トレーニング セッションに関して、指導しているマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの主題であるマイクロソフト テクノロジについて深い知識と経験を有する有資格のトレーナーのみを雇用するものとします。
- viii. お客様は、MOC タイトルを使用する各認定トレーニング セッションについて、1 週間に提供するトレーニングは最大 15 時間とするものとします。
- ix. お客様は、MCT ではないトレーナーがマイクロソフト インストラクター指導コースウェアのすべてのトレーナー リソースにアクセスできないようにすることに同意するものとします。

b. お客様がマイクロソフト ラーニング コンピテンシー メンバーである場合。

- i. お客様自身に代わって取得された各ライセンスは、お客様に提供された形式でマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの複製 1 部を確認するためにのみ使用できます。マイクロソフト インストラクター指導コースウェアがデジタル形式である場合、お客様は最大 3 台の個人用デバイスに複製 1 部をインストールすることができます。お客様が所有または管理していないデバイスに、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアをインストールすることはできません。
- ii. お客様は、エンド ユーザーまたはトレーナーに代わって取得する各ライセンスについて、以下のいずれかを行うことができます。
 - 1. マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのハード コピー版 1 部を、提供するマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの主題である認定トレーニング セッションの開始直前に限り、かかる認定トレーニング セッションに出席しているエンド ユーザー 1 名に頒布すること。または
 - 2. マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのデジタル版 1 部の一意の引き換えコード、および当該コースウェアにアクセスする方法に関する手順を、認定トレーニング セッションに参加しているエンド ユーザー 1 名に提供すること。または

3. トレーナー コンテンツ 1 部の一意の引き換えコード、および当該トレーナー コンテンツにアクセスする方法に関する手順を、トレーナー 1 名に提供すること。

ただし、以下の条項を遵守することを条件とします。

- iii. お客様は、本許諾コンテンツのみへのアクセス権を、本許諾コンテンツの有効なライセンスを取得している個人に提供するものとします。
- iv. お客様は、認定トレーニング セッションに出席している各エンド ユーザーが、かかる認定トレーニング セッションの主題であるマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの有効なライセンス取得済みの複製を各自持っていることを確認するものとします。
- v. お客様は、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのハード コピー版を提供する各エンド ユーザーに本ライセンス条項の複製 1 部が提示されること、および各エンド ユーザーにマイクロソフト インストラクター指導コースウェアを提供する前に、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのエンド ユーザーによる使用に、本ライセンス条項の条件が適用されることに各エンド ユーザーが同意することを確認するものとします。各個人が、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアにアクセスする前に、地域の法律に基づいて強制力を有する方法で、本ライセンス条項に同意する旨を示す必要があります。
- vi. お客様は、認定トレーニング セッションを指導する各トレーナーが、かかる認定トレーニング セッションの主題であるトレーナー コンテンツの有効なライセンス取得済みの複製を各自持っていることを確認するものとします。
- vii. お客様は、お客様の認定トレーニング セッションに関して、指導しているマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの主題である、マイクロソフト認定資格の該当する資格情報を保持する有資格のトレーナーのみを雇用するものとします。
- viii. お客様は、MOC を使用するお客様のすべての認定トレーニング セッションに関して、指導している MOC タイトルの主題である、マイクロソフト認定資格の該当する資格情報も保持する有資格の MCT のみを雇用するものとします。
- ix. お客様は、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのみへのアクセス権を、エンド ユーザーに提供するものとします。
- x. お客様は、トレーナー コンテンツのみへのアクセス権を、トレーナーに提供するものとします。

c. お客様が MPN メンバーである場合。

- i. お客様自身に代わって取得された各ライセンスは、お客様に提供された形式でマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの複製 1 部を確認するためにのみ使用できます。マイクロソフト インストラクター指導コースウェアがデジタル形式である場合、お客様は最大 3 台の個人用デバイスに複製 1 部をインストールすることができます。お客様が所有または管理していないデバイスに、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアをインストールすることはできません。
- ii. お客様は、エンド ユーザーまたはトレーナーに代わって取得する各ライセンスについて、以下のいずれかを行うことができます。
 - 1. マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのハード コピー版 1 部を、提供しているマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの主題であるプライベート トレーニング セッションの開始直前に限り、かかるプライベート トレーニング セッションに出席しているエンド ユーザー 1 名に頒布すること。または
 - 2. マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのデジタル版 1 部の一意の引き換えコード、および当該コースウェアにアクセスする方法に関する手順を、プライベート トレーニング セッションに参加しているエンド ユーザー 1 名に提供すること。または
 - 3. トレーナー コンテンツ 1 部の一意の引き換えコード、および当該トレーナー コンテンツにアクセスする方法に関する手順を、プライベート トレーニング セッションで指導するトレーナー 1 名に提供すること。

ただし、以下の条項を遵守することを条件とします。

- iii. お客様は、本許諾コンテンツのみへのアクセス権を、本許諾コンテンツの有効なライセンスを取得している個人に提供するものとします。

- iv. お客様は、プライベート トレーニング セッションに出席している各エンド ユーザーが、かかるプライベート トレーニング セッションの主題であるマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの有効なライセンス取得済みの複製を各自持っていることを確認するものとします。
- v. お客様は、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのハード コピー版を提供する各エンド ユーザーに本ライセンス条項の複製 1 部が提示されること、および各エンド ユーザーにマイクロソフト インストラクター指導コースウェアを提供する前に、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのエンド ユーザーによる使用に、本ライセンス条項の条件が適用されることに各エンド ユーザーが同意することを確認するものとします。各個人が、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアにアクセスする前に、地域の法律に基づいて強制力を有する方法で、本ライセンス条項に同意する旨を示す必要があります。
- vi. お客様は、プライベート トレーニング セッションを指導する各トレーナーが、かかるプライベート トレーニング セッションの主題であるトレーナー コンテンツの有効なライセンス取得済みの複製を各自持っていることを確認するものとします。
- vii. お客様は、お客様のすべてのプライベート トレーニング セッションに関して、指導しているマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの主題である、マイクロソフト認定資格の該当する資格情報を保持する有資格のトレーナーのみを雇用するものとします。
- viii. お客様は、MOC を使用するお客様のすべてのプライベート トレーニング セッションに関して、指導している MOC タイトルの主題である、マイクロソフト認定資格の該当する資格情報を保持する有資格の MCT のみを雇用するものとします。
- ix. お客様は、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのみへのアクセス権を、エンド ユーザーに提供するものとします。
- x. お客様は、トレーナー コンテンツのみへのアクセス権を、トレーナーに提供するものとします。

d. **お客様がエンド ユーザーである場合。**

お客様が取得する各ライセンスについて、お客様は、お客様の個人トレーニングに使用する目的に限り、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアを使用することができます。マイクロソフト インストラクター指導コースウェアがデジタル形式である場合、お客様は、トレーニング プロバイダーからお客様に提供された一意の引き換えコードを使用してオンラインでマイクロソフト インストラクター指導コースウェアにアクセスし、かかるマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの複製 1 部を最大 3 台の個人用デバイスにインストールして使用することができます。お客様は、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアの複製 1 部を印刷することもできます。お客様が所有または管理していないデバイスに、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアをインストールすることはできません。

e. **お客様がトレーナーである場合。**

- i. お客様が取得する各ライセンスについて、お客様は、認定トレーニング セッションまたはプライベート トレーニング セッションの準備または提供のみを目的として、お客様に提供された形式のトレーナー コンテンツの複製 1 部を 1 台の個人用デバイスにインストールして使用することができます。また、追加の複製 1 部をバックアップ用の複製として別の個人用デバイスにインストールすることができます。かかるバックアップ用の複製は、トレーナー コンテンツの再インストールにのみ使用できます。お客様が所有または管理していないデバイスで、トレーナー コンテンツの複製をインストールまたは使用することはできません。お客様は、認定トレーニング セッションまたはプライベート トレーニング セッションの準備または提供のみを目的として、トレーナー コンテンツの複製 1 部を印刷することもできます。

- ii. お客様は、最新バージョンの MCT 契約書に従って、トレーニング セッションの手順に論理的に関連するトレーナー コンテンツの記述部分をカスタマイズすることができます。お客様は、上記の権利を行使することを選択した場合、以下に従うことに同意するものとします。(i) カスタマイズは、認定トレーニング セッションおよびプライベート トレーニング セッションを指導するためにのみ使用できる、および (ii) すべてのカスタマイズは本ライセンス条項に準拠している。言い換えると、「カスタマイズ」の使用とは、スライドとコンテンツの順序の変更、および一部のスライドまたはコンテンツの不使用のみを意味し、スライドまたはコンテンツの変更または改変を意味しないものとします。

2.2 構成部分の分離。本許諾コンテンツは 1 つの製品として許諾されており、お客様はそのコンポーネントを分離し、複数のデバイスにインストールすることはできません。

2.3 本許諾コンテンツの再頒布。上記の使用権において明示的に規定されている場合を除き、マイクロソフトの書面による許可なく、お客様が第三者に対して、本許諾コンテンツ (および許可される改変) またはその一部を頒布することはできません。

2.4 第三者のプログラムおよびサービス。本許諾コンテンツには、第三者によるプログラムまたはサービスが含まれることがあります。お客様によるこれらの第三者によるプログラムまたはサービスの使用には、当該プログラムおよびサービスに別途固有のライセンス条項が付属している場合を除き、本ライセンス条項が適用されます。

2.5 追加条項。一部の本許諾コンテンツには、その使用に関して追加の条項、条件、およびライセンスが適用されるコンポーネントが含まれる場合があります。かかる条件およびライセンスにおいて本ライセンス条項と矛盾しない条項は、お客様による個々のコンポーネントの使用にも適用され、本ライセンス条項に規定されている条項を補完するものとします。

3. プレリリース テクノロジーに基づく本許諾コンテンツ。本許諾コンテンツの主題がマイクロソフト テクノロジーのプレリリース版 (以下、「**プレリリース版**」といいます) に基づいている場合は、本ライセンス条項の他の規定に加え、以下の条件も適用されます。

- a. **プレリリース版の本許諾コンテンツ。**本許諾コンテンツの主題は、マイクロソフト テクノロジーのプレリリース版に関するものです。当該テクノロジーは、当該テクノロジーの最終版と異なる動作をする場合があります。マイクロソフトは最終版向けに当該テクノロジーを変更することがあります。また、最終版がリリースされない場合もあります。当該テクノロジーの最終版に基づく本許諾コンテンツには、プレリリース版に基づく本許諾コンテンツと同じ情報が含まれていない場合もあります。マイクロソフトは、当該テクノロジーの最終版に基づく本許諾コンテンツを含めて、追加のコンテンツをお客様に提供する義務を負わないものとします。
- b. **フィードバック。**お客様は、マイクロソフトに対して本許諾コンテンツに関するフィードバックを提供する場合、直接または第三者の被指名人を介して、その方法や目的を問わず、お客様のフィードバックを使用、共有、および商品化する権利を無償でマイクロソフトに譲渡するものとします。また、お客様は、該当するフィードバックの対象となるマイクロソフト ソフトウェア、マイクロソフト製品、またはサービスの特定部分を使用するためのすべての特許権、またはこの特定部分に関連する第三者の製品、技術、およびサービスに必要とされるすべての特許権を無償で第三者に譲渡するものとします。お客様は、マイクロソフトがお客様のフィードバックをソフトウェア、テクノロジー、または製品に取り込んだために、マイクロソフトが第三者からソフトウェア、テクノロジー、または製品のライセンスを取得しなければならないようなフィードバックを提供しないものとします。これらの権利は本ライセンス条項の終了後も効力を維持するものとします。
- c. **プレリリース版の有効期間。**お客様がマイクロソフト IT Academy プログラム メンバー、マイクロソフ

トレーニング コンピテンシー メンバー、MPN メンバー、またはトレーナーである場合、プレリリース版のテクノロジーに関する本許諾コンテンツのすべての複製の使用を、(i) マイクロソフトがお客様に、プレリリース版のテクノロジーに関する本許諾コンテンツの使用期限として通知した日付、または (ii) 本許諾コンテンツの主題であるテクノロジーの完成版の発売日から 60 日後のうちのいずれか早い方の時点 (以下、「**プレリリース版の有効期間**」) で停止するものとします。お客様は、プレリリース版の有効期間の満了時または終了時に、お客様が所有または管理している本許諾コンテンツのすべての複製を回復できないように削除して破棄するものとします。

4. **ライセンスの適用範囲。**本許諾コンテンツは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本ライセンス条項は、お客様に本許諾コンテンツを使用する限定的な権利を付与します。マイクロソフトはその他の権利をすべて留保します。適用される法令により上記の制限を超える権利が与えられる場合を除き、お客様は本ライセンス条項で明示的に許可された方法でのみ本許諾コンテンツを使用することができます。お客様は、使用方法を制限するために本許諾コンテンツに組み込まれている技術的制限に従わなければなりません。本ライセンス条項において明示的に許可されている場合を除き、お客様は以下の行為を行うことはできません。
 - 本許諾コンテンツにアクセスするか、または本許諾コンテンツの有効なライセンスを取得していない個人に本許諾コンテンツへのアクセスを許可すること。
 - 本許諾コンテンツに含まれている著作権もしくはその他の保護に関する表示 (透かしを含みます)、ブランド、または識別情報を改変すること、取り除くこと、または不明瞭にすること。
 - 本許諾コンテンツを改変するか、または本許諾コンテンツの派生品を作成すること。
 - 第三者がアクセスまたは使用できるように本許諾コンテンツを公開または提供すること。
 - 本許諾コンテンツを複製、印刷、インストール、販売、公開、送信、貸与、改造、再利用、リンク設定もしくは投稿、または第三者に提供もしくは頒布すること。
 - 本許諾コンテンツの技術的な制限を回避する方法で使用する。
 - 本許諾コンテンツをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすること、あるいは本許諾コンテンツに対する保護を削除またはその他の方法で妨げること。ただし、適用される法令により明示的に認められている場合を除きます。
5. **権利および所有権の留保。**マイクロソフトは、本ライセンス条項においてお客様に明示的に許諾されていない権利をすべて留保します。本許諾コンテンツは、著作権法およびその他の知的財産に関する法律および条約によって保護されています。マイクロソフトまたはそのサプライヤーは、本許諾コンテンツに関する所有権、著作権、およびその他の知的財産権を所有しています。
6. **輸出規制。**本許諾コンテンツは米国および日本国の輸出に関する規制の対象となります。お客様は、本許諾コンテンツに適用される、すべての国内法および国際法 (輸出対象国、エンドユーザーおよびエンドユーザーによる使用に関する制限を含みます) を遵守しなければなりません。詳細については www.microsoft.com/exporting をご参照ください。
7. **サポート サービス。**本許諾コンテンツは現状有姿で提供されます。そのため、マイクロソフトはサポート サービスを提供しない場合があります。
8. **解除。**マイクロソフトは、お客様が本ライセンス条項の契約条件を遵守していない場合、他のいかなる権利も制限することなく本ライセンス条項を解除することができます。お客様は、本ライセンス条項の解除時に、お客様が所有または管理している本許諾コンテンツのすべての複製の使用を直ちに停止し、かかるすべての複製を削除して破棄するものとします。
9. **第三者のサイトへのリンク。**お客様は、本許諾コンテンツの使用中に第三者のサイトにリンクすることがあります。第三者のサイトはマイクロソフトの管理が及ばないものであり、第三者のサイトのコンテンツ、第三者のサイトに含まれるリンク、第三者のサイトに対する変更または更新には、マイクロソフトは責任を負いません。マイクロソフトは、いかなる第三者のサイトから受信されたウェブ キャスティングまたは

その他のいかなる形式の送信についても責任を負いません。マイクロソフトは、お客様への便宜を図る目的でのみ、第三者へのリンクを提供しています。リンクが含まれていても、マイクロソフトが第三者のサイトを推奨することを意味しません。

10. **完全合意。**本ライセンス条項、ならびにトレーナー コンテンツ、更新コンテンツ、および追加コンテンツに関する追加条項は、本許諾コンテンツ、更新コンテンツ、および追加コンテンツについてのお客様とマイクロソフトとの間の完全なる合意です。
11. **準拠法。**
- a. 日本。お客様が本ソフトウェアを日本国内で入手された場合、本ライセンス条項は日本法に準拠するものとします。
 - b. 米国。お客様が本許諾コンテンツを米国内で入手された場合、抵触法にかかわらず、本ライセンス条項の解釈および契約違反への主張は、米国ワシントン州法に準拠するものとします。消費者保護法、公正取引法、および違法行為を含みますがこれに限定されない他の主張については、お客様が所在する地域の法律に準拠します。
 - c. 日本および米国以外。お客様が本許諾コンテンツを日本国および米国以外の国で入手された場合、本ライセンス条項は適用される地域法に準拠するものとします。
12. **法的効力。**本ライセンス条項は、特定の法的な権利を規定します。お客様は、地域や国によっては、本ライセンス条項の定めにかかわらず、本ライセンス条項と異なる権利を有する場合があります。また、お客様が本許諾コンテンツを取得された第三者に関する権利を取得できる場合もあります。本ライセンス条項は、お客様の地域または国の法律により権利の拡大が認められない限り、それらの権利を変更しないものとします。
13. **あらゆる保証の免責。**本許諾コンテンツは、提供しうる形で現状有姿のまま提供されます。お客様は、その使用に関するリスクを負うものとします。マイクロソフトおよびその各関連会社は、明示的な瑕疵担保責任または保証責任を一切負いません。本ライセンス条項では変更できないお客様の地域の法律による追加の消費者の権利が存在する場合があります。マイクロソフトおよびその各関連会社は、法律上許容される最大限において、商品性、特定目的に対する適合性、非侵害性に関する黙示の保証について一切責任を負いません。
14. **救済手段および責任の制限および除外。**マイクロソフト、各マイクロソフト関連会社、およびそのサプライヤーの責任は、5.00 米ドルを上限とする直接損害に限定されます。その他の損害 (派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、および付随的損害を含みますがこれらに限定されません) に関しては、一切責任を負いません。

この制限は、以下に適用されるものとします。

- 本許諾コンテンツ、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ (コードを含みます) または第三者のプログラムに関連した事項
- 契約違反、保証違反、厳格責任、過失、または不法行為等の請求 (適用される法令により認められている範囲において)

この制限は、マイクロソフトが損害の可能性を認識していたか、または認識し得た場合にも適用されます。また、一部の国では付随的損害および派生的損害の免責、または責任の制限が認められないため、上記の制限事項が適用されない場合があります。

第 1 章

SharePoint Server 2013 の紹介

目次

レッスン 1 : SharePoint の展開のための主要コンポーネント	1-2
レッスン 2 : SharePoint 2013 の新機能	1-3
レッスン 3 : SharePoint 2013 展開オプション	1-5
復習とまとめ	1-6

レッスン 1

SharePoint の展開のための主要コンポーネント

レッスン 2

SharePoint 2013 の新機能

目次

デモンストレーション : SharePoint サーバーの全体管理の調査.....	1-4
---	-----

デモンストレーション : SharePoint サーバーの全体管理の調査

デモンストレーションの手順

1. スタート画面を開きます。[SharePoint 2013 サーバーの全体管理] をクリックします。
2. [ユーザー アカウント制御] ダイアログ ボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。
3. [サーバーの全体管理] ホーム ページで、[アプリケーション構成の管理] をクリックし、[アプリケーション構成の管理] ページの [サービス アプリケーション] で、[サービス アプリケーションの管理] をクリックします。
4. [サービス アプリケーションの管理] ページの [サービス アプリケーション] タブで、[新規] をクリックし、選択可能なサービス アプリケーションのリストを確認します。Machine Translation Service と Work Management Service Application などの新しいサービス アプリケーションに、受講者の注意を促します。
5. [サービス アプリケーションの管理] ページのサービス アプリケーションのリストで、[Contoso Search] をクリックします。[Search Service Application Proxy] 行ではなく、[Search Service Application] 行で [Contoso Search] をクリックする必要があります。
6. [Contoso Search] の [検索管理] ページで、[検索アプリケーションのトポロジ] セクションを表示し、Web ブラウザーでトポロジを編集できないことを確認します。
7. [Contoso Search] の [検索管理] ページで、[サーバーの全体管理] をクリックします。
8. [サーバーの全体管理] の [アプリケーション構成の管理] で、[Web アプリケーションの管理] をクリックします。
9. [Web アプリケーションの管理] ページで、[SharePoint] の [sharepoint.contoso.com80] をクリックし、リボンで [認証プロバイダー] をクリックします。
10. [認証プロバイダー] ダイアログ ボックスで、認証が [クレーム ベース認証] を使用するように設定されていることに注意して、[終了ダイアログ] をクリックします。
11. [Web アプリケーションの管理] ページのサイドリンク バー エリアで、[アプリケーション構成の管理] をクリックします。
12. [アプリケーション構成の管理] ページで、[サイト コレクション] の下の [サイト コレクションの作成] をクリックします。
13. [サイト コレクションの作成] ページで、サイト コレクションのタイトルと URL を入力します。2013 エクスペリエンスが選択されている場合には、使用できるテンプレートが表示されます。2010 エクスペリエンスが選択されている場合には、使用できるテンプレートが表示されます。
14. 2013 エクスペリエンスが選択されている場合には、[グループ作業] で、[コミュニティ サイト] テンプレートをクリックします。
15. [サイト コレクション管理者 (プライマリ)] ボックスに「CONTOSO¥administrator」と入力し、[OK] をクリックします。

レッスン 3

SharePoint 2013 展開オプション

復習とまとめ

ベスト プラクティス

この章では、SharePoint 2013 の機能と論理的アーキテクチャを確認し、組織の情報アーキテクチャをサポートする SharePoint の機能を確認しました。

また、SharePoint 2013 の新しい機能と、廃止された機能を確認しました。

さらに、オンプレミスの SharePoint、SharePoint Online、またハイブリッドな SharePoint 展開のオプションについて学習しました。

質問：なぜ場所ベースのメタデータの既定値は、メタデータの使用率を高めるために特に有用で、またユーザーがより良い選択をするために役に立つのでしょうか。

解答：

質問：SharePoint 2013 の新機能は、次のどれですか。

- ☐ PerformancePoint 統合
- ☐ グループ ワーク サイト テンプレート
- ☐ シソーラスでの分音記号の考慮
- ☐ モバイル ブラウザー用 HTML5 ビュー
- ☐ SharePoint Workspace

解答：

- ☐ PerformancePoint 統合
- ☐ グループ ワーク サイト テンプレート
- ☐ シソーラスでの分音記号の考慮
- ☒ モバイル ブラウザー用 HTML5 ビュー
- ☐ SharePoint Workspace

質問：SharePoint 2013 展開では内部ネットワークの SQL Server データベースからデータを発行することができるといふ記述は、正しいですか、誤りですか。

- ☐ True
- ☐ False

解答：

- ☒ True
- ☐ False

第 2 章

情報アーキテクチャの設計

目次

レッスン 1 : ビジネス要件の特定	2-2
レッスン 2 : ビジネス要件の理解	2-3
レッスン 3 : SharePoint 2013 による情報の整理	2-4
レッスン 4 : 検出性の計画	2-5
復習とまとめ	2-6

レッスン 1

ビジネス要件の特定

レッスン 2

ビジネス要件の理解

レッスン 3

SharePoint 2013 による情報の整理

レッスン 4

検出性の計画

復習とまとめ

質問：情報アーキテクチャの設計プロジェクトの開始時、次の要素の中の何が、組織の要件と、投稿者とコンシューマー間の情報の流れ方を定義しますか。

- ☐ コンテキスト
- ☐ 設計
- ☐ 目標
- ☐ ユーザー
- ☐ テクノロジ

解答：

- ☒ コンテキスト
- ☐ 設計
- ☐ 目標
- ☐ ユーザー
- ☐ テクノロジ

質問：関連する用語のリストを記述するのは、次のどれですか。

- ☐ 用語
- ☐ 用語セット
- ☐ 用語グループ
- ☐ 用語グループ管理者
- ☐ 投稿

解答：

- ☐ 用語
- ☒ 用語セット
- ☐ 用語グループ
- ☐ 用語グループ管理者
- ☐ 投稿

質問：組織の分類は、エンタープライズ コンテンツ管理で最も広く使用されている。

- ☐ 正しい
- ☐ 誤り

解答：

- ☒ 正しい
- ☐ 誤り

第 3 章

論理アーキテクチャの設計

目次

レッスン 1 : SharePoint 2013 論理アーキテクチャの概要	3-2
レッスン 2 : 論理アーキテクチャのドキュメント	3-3
復習とまとめ	3-4

レッスン 1

SharePoint 2013 論理アーキテクチャの概要

レッスン 2

論理アーキテクチャのドキュメント

復習とまとめ

質問：次のどれが、論理アーキテクチャの機能要件ですか。

- ☐ 容量の標準への準拠
- ☐ パフォーマンスの目標の順守
- ☐ ビジネス継続性のサービス レベル アグリーメントを提供するために不可欠の権限
- ☐ 法的な監査ルールへの準拠
- ☐ 将来の成長に対するスケーラビリティの保証

解答：

- ☐ 容量の標準への準拠
- ☐ パフォーマンスの目標の順守
- ☐ ビジネス継続性のサービス レベル アグリーメントを提供するために不可欠の権限
- ☒ 法的な監査ルールへの準拠
- ☐ 将来の成長に対するスケーラビリティの保証

質問：論理アーキテクチャは、ビジネス要件を満たすよう設計されたソリューションの物理的でない構造について示しています。これは正しいですか、誤りですか。

- ☐ 正しい
- ☐ 誤り

解答：

- ☒ 正しい
- ☐ 誤り

第 4 章

物理アーキテクチャの設計

目次

レッスン 1 : SharePoint 展開の物理コンポーネントの設計	4-2
レッスン 2 : SharePoint 展開用サポート コンポーネントの設計	4-3
レッスン 3 : SharePoint ファーム トポロジ	4-4
レッスン 4 : 論理アーキテクチャ設計から物理アーキテクチャ設計への対応付け	4-5
復習とまとめ	4-6

レッスン 1

SharePoint 展開の物理コンポーネントの設計

レッスン 2

SharePoint 展開用サポート コンポーネントの設計

レッスン 3

SharePoint ファーム トポロジ

レッスン 4 論理アーキテクチャ設計から物理アーキテクチャ設計への 対応付け

復習とまとめ

質問： SharePoint 2013 データベースに適さない SQL データベース復旧モデルはどれですか。

解答：一括ログ復旧モデルは、SharePoint 2013 データベースに適しません。

質問： サーバーの全体管理を使用し、SharePoint Web アプリケーションに SSL 証明書を追加することができますか。

解答： いいえ。

質問： 共同している SharePoint ファームが 2 つある組織では、ファーム A からファーム B のコンテンツタイプを共有することができますか。また、同時に、ファーム B からファーム A のコンテンツタイプを共有することができますか。

解答： はい。

質問： オンプレミス型 Active Directory や SharePoint Online 展開でシングル サインオンをサポートするために必要なサポート コンポーネントはどれですか。

- ☐ Active Directory Rights Management サービス (AD RMS)
- ☐ Active Directory フェデレーション サービス (AD FS)
- ☐ Active Directory Lightweight Directory サービス (AD LDS)
- ☐ Active Directory 証明書サービス (AD CS)
- ☐ リバース プロキシ

解答：

- ☐ Active Directory Rights Management サービス (AD RMS)
- ☒ Active Directory フェデレーション サービス (AD FS)
- ☐ Active Directory Lightweight Directory サービス (AD LDS)
- ☐ Active Directory 証明書サービス (AD CS)
- ☐ リバース プロキシ

第 5 章

SharePoint Server 2013 のインストールと構成

目次

レッスン 1 : SharePoint Server 2013 のインストール	5-2
レッスン 2 : インストールと構成のスク립トの作成	5-3
レッスン 3 : SharePoint Server 2013 のファーム設定の構成	5-4
復習とまとめ	5-5

レッスン 1

SharePoint Server 2013 のインストール

レッスン 2

インストールと構成のスキプトの作成

レッスン 3

SharePoint Server 2013 のファーム設定の構成

復習とまとめ

質問：データベースが組み込まれた単一サーバーの展開を選択する場合、次の記述のどれが正しいですか。

- ☐ SharePoint では、データベース エンジンとして、サイズの制限のない SQL Server 2008 R2 を使用する。
- ☐ SharePoint では、データベース エンジンとして、データベースの最大サイズが 10 GB に制限されている SQL Server 2008 R2 Express を使用する。
- ☐ SharePoint では、データベース エンジンとして、サイズの制限のない SQL Server 2012 を使用する。
- ☐ SharePoint では、データベース エンジンとして、データベースの最大サイズが 15 GB に制限されている SQL Server 2012 Express を使用する。
- ☐ SharePoint では、データベース エンジンとして、サイズの制限のない localdb を使用する。

解答：

- ☐ SharePoint では、データベース エンジンとして、サイズの制限のない SQL Server 2008 R2 を使用する。
- ☒ SharePoint では、データベース エンジンとして、データベースの最大サイズが 10 GB に制限されている SQL Server 2008 R2 Express を使用する。
- ☐ SharePoint では、データベース エンジンとして、サイズの制限のない SQL Server 2012 を使用する。
- ☐ SharePoint では、データベース エンジンとして、データベースの最大サイズが 15 GB に制限されている SQL Server 2012 Express を使用する。
- ☐ SharePoint では、データベース エンジンとして、サイズの制限のない localdb を使用する。

質問：SharePoint 2013 により、次のどのワークフローの種類が自動的にインストールされますか。

- ☐ SharePoint Portal Server 2003 ワークフロー
- ☐ Office SharePoint Server 2007 ワークフロー
- ☐ SharePoint 2010 ワークフロー
- ☐ SharePoint 2013 ワークフロー
- ☐ SharePoint 2013 ワークフロー - Project Server

解答：

- ☐ SharePoint Portal Server 2003 ワークフロー
- ☐ Office SharePoint Server 2007 ワークフロー
- ☒ SharePoint 2010 ワークフロー
- ☐ SharePoint 2013 ワークフロー
- ☐ SharePoint 2013 ワークフロー - Project Server

質問：Microsoft は、SharePoint 2013 のスクリプト化されたインストールの実行に使用できるサンプルの Config.xml ファイルを提供しています。SharePoint のインストールにこれらのファイルを使用する前に、ファイルに変更を加える必要があります。SharePoint のインストールに使用する前に、サンプルの Config.xml ファイルに加えることが必要な最小限の変更に相当するオプションは次のどれですか。

- () ルート ドメインを入力する。
- () コメント タグを削除する。
- () 有効なプロダクト キーを入力する。
- () コメント タグを削除し、有効なプロダクト キーを入力する。
- () コメント タグを削除し、有効なプロダクト キーを入力して、ルート ドメインを入力する。

解答：

- () ルート ドメインを入力する。
- () コメント タグを削除する。
- () 有効なプロダクト キーを入力する。
- (√) コメント タグを削除し、有効なプロダクト キーを入力する。
- () コメント タグを削除し、有効なプロダクト キーを入力して、ルート ドメインを入力する。

第 6 章

Web アプリケーションとサイト コレクションの作成

目次

レッスン 1 : Web アプリケーションの作成	6-2
レッスン 2 : Web アプリケーションの構成	6-3
レッスン 3 : サイト コレクションの作成と構成	6-4
復習とまとめ	6-5

レッスン 1

Web アプリケーションの作成

レッスン 2

Web アプリケーションの構成

レッスン 3

サイト コレクションの作成と構成

復習とまとめ

質問： SharePoint 2013 ファームの論理構造で最も高いレベルのコンポーネントは何ですか。

- ☐ サイト コレクション
- ☐ Web アプリケーション
- ☐ Web サイト
- ☐ フォルダー
- ☐ サイト

解答：

- ☐ サイト コレクション
- ☒ Web アプリケーション
- ☐ Web サイト
- ☐ フォルダー
- ☐ サイト

質問： SharePoint 2013 で廃止された Web アプリケーション構成機能はどれですか。

- ☐ 管理パス
- ☐ ホスト名付きサイト コレクション
- ☐ ホスト ヘッダー
- ☐ 代替アクセス マッピング
- ☐ セルフサービス サイト作成

解答：

- ☐ 管理パス
- ☐ ホスト名付きサイト コレクション
- ☐ ホスト ヘッダー
- ☒ 代替アクセス マッピング
- ☐ セルフサービス サイト作成

質問: コミュニティ ポータル、ドキュメント センター、個人用サイトのホストのテンプレートは、どのテンプレート カテゴリに含まれますか。

- ☐ グループ作業
- ☐ カスタム
- ☐ エンタープライズ
- ☐ 発行

解答:

- ☐ グループ作業
- ☐ カスタム
- ☒ エンタープライズ
- ☐ 発行

第 7 章

サービス アプリケーションの計画と構成

目次

レッスン 1 : サービス アプリケーション アーキテクチャの紹介	7-2
レッスン 2 : サービス アプリケーションの作成と構成	7-3
復習とまとめ	7-4

レッスン 1

サービス アプリケーション アーキテクチャの紹介

レッスン 2

サービス アプリケーションの作成と構成

復習とまとめ

質問：Exchange Server および Project Server を含む Microsoft 環境間でユーザーがタスクを同期できるのは、次のどれですか。

- ☐ Business Connectivity Service
- ☐ Managed Metadata Service
- ☐ Secure Store Service
- ☐ State Service
- ☐ Work Management Service

解答：

- ☐ Business Connectivity Service
- ☐ Managed Metadata Service
- ☐ Secure Store Service
- ☐ State Service
- ☒ Work Management Service

質問：サービス アプリケーション管理に関する次の記述のうち、誤っているものを選んでください。

- ☐ サーバーの全体管理 UI で、すべてのサービス アプリケーション機能を管理することができる。
- ☐ Windows PowerShell で、すべてのサービス アプリケーション機能を管理することができる。
- ☐ サービス アプリケーション管理を委任することができる。
- ☐ サービス アプリケーション機能の管理を委任することができる。
- ☐ サーバーの全体管理 UI で、Default グループにサービス アプリケーションを作成することができる。

解答：

- ☒ サーバーの全体管理 UI で、すべてのサービス アプリケーション機能を管理することができる。
- ☐ Windows PowerShell で、すべてのサービス アプリケーション機能を管理することができる。
- ☐ サービス アプリケーション管理を委任することができる。
- ☐ サービス アプリケーション機能の管理を委任することができる。
- ☐ サーバーの全体管理 UI で、Default グループにサービス アプリケーションを作成することができる。

第 8 章

ユーザーと権限の管理

目次

レッスン 1 : SharePoint 2013 の承認	8-2
レッスン 2 : コンテンツへのアクセスの管理	8-3
復習とまとめ	8-4

レッスン 1

SharePoint 2013 の承認

レッスン 2

コンテンツへのアクセスの管理

復習とまとめ

質問：投稿のアクセス許可レベルが既定で割り当てられているのは、次のどの SharePoint グループですか。

- ☐ 閲覧者
- ☐ 訪問者
- ☐ 所有者
- ☐ メンバー
- ☐ デザイナー

解答：

- ☐ 閲覧者
- ☐ 訪問者
- ☐ 所有者
- ☒ メンバー
- ☐ デザイナー

質問：アプリが認証されたユーザーの代理として実行しているのではない場合に、どの種類のアプリケーション承認ポリシーが必要ですか。

- ☐ ユーザー + アプリ ポリシー
- ☐ アプリ用ポリシー
- ☐ ユーザー用ポリシー
- ☐ いずれかのポリシー

解答：

- ☐ ユーザー + アプリ ポリシー
- ☒ アプリ用ポリシー
- ☐ ユーザー用ポリシー
- ☐ いずれかのポリシー

第 9 章

SharePoint 2013 の認証の構成

目次

レッスン 1 : 認証の概要	9-2
レッスン 2 : フェデレーション認証の構成	9-3
レッスン 3 : サーバー間認証の構成	9-4
復習とまとめ	9-5

レッスン 1

認証の概要

レッスン 2

フェデレーション認証の構成

レッスン 3

サーバー間認証の構成

復習とまとめ

質問：どのような状況で SharePoint Web アプリケーションを追加の領域に拡張しますか。

- ☐ 複数のクレームベース ID プロバイダーをサポートする場合。
- ☐ HTTP と HTTPS の両方を経由し、Web アプリケーション コンテンツにアクセスできるようにする場合。
- ☐ SharePoint サイトに複数のホスト名を関連付ける場合。
- ☐ Web アプリケーションを複数のコンテンツ データベースにわたって分割する場合。
- ☐ フォーム ベース認証を有効化する場合。

解答：

- ☐ 複数のクレームベース ID プロバイダーをサポートする場合。
- ☒ HTTP と HTTPS の両方を経由し、Web アプリケーション コンテンツにアクセスできるようにする場合。
- ☐ SharePoint サイトに複数のホスト名を関連付ける場合。
- ☐ Web アプリケーションを複数のコンテンツ データベースにわたって分割する場合。
- ☐ フォーム ベース認証を有効化する場合。

質問：SAML トークンベース ID プロバイダーを信頼するように SharePoint を構成するために使用する PowerShell コマンドレットはどれですか。

- ☐ New-SPTrustedIdentityTokenIssuer
- ☐ New-SPTrustedRootAuthority
- ☐ New-SPClaimTypeMapping
- ☐ New-SPClaimsPrincipal
- ☐ New-SPAAuthenticationProvider

解答：

- ☒ New-SPTrustedIdentityTokenIssuer
- ☐ New-SPTrustedRootAuthority
- ☐ New-SPClaimTypeMapping
- ☐ New-SPClaimsPrincipal
- ☐ New-SPAAuthenticationProvider

質問： SharePoint が OAuth ベースのサーバー間要求を受け取った際、ユーザー ID を解決する役割を担う SharePoint 2013 サービス アプリケーションはどれですか。

- () Security Token Service アプリケーション
- () Application Management Service アプリケーション
- () Managed Metadata Service アプリケーション
- () Business Data Connectivity Service アプリケーション
- () User Profile Service アプリケーション

解答：

- () Security Token Service アプリケーション
- () Application Management Service アプリケーション
- () Managed Metadata Service アプリケーション
- () Business Data Connectivity Service アプリケーション
- (√) User Profile Service アプリケーション

第 10 章

SharePoint 2013 の展開の保護

目次

レッスン 1 : プラットフォームの保護	10-2
レッスン 2 : ファーム レベルのセキュリティの構成	10-3
復習とまとめ	10-4

レッスン 1

プラットフォームの保護

レッスン 2

ファーム レベルのセキュリティの構成

復習とまとめ

質問： Forefront Identity Manager とユーザー プロファイルを一致させるための Active Directory との通信で、開く必要がないポートは、次のどれですか。

- ☐ ポート 53
- ☐ ポート 80
- ☐ ポート 389
- ☐ ポート 464
- ☐ ポート 5725

解答：

- ☐ ポート 53
- ☒ ポート 80
- ☐ ポート 389
- ☐ ポート 464
- ☐ ポート 5725

質問： 次のオブジェクトの中で、SharePoint 2013 で監査を設定できないものはどれですか。

- ☐ ドキュメント
- ☐ ライブラリ
- ☐ リスト
- ☐ サイト
- ☐ Web アプリケーション

解答：

- ☐ ドキュメント
- ☐ ライブラリ
- ☐ リスト
- ☐ サイト
- ☒ Web アプリケーション

第 11 章

分類の管理

目次

レッスン 1 : コンテンツ タイプの管理	11-2
レッスン 2 : 用語ストアと用語セットの理解	11-3
レッスン 3 : 用語ストアと用語セットの管理	11-4
復習とまとめ	11-5

レッスン 1 コンテンツ タイプの管理

レッスン 2

用語ストアと用語セットの理解

レッスン 3

用語ストアと用語セットの管理

復習とまとめ

質問 : 分類を確立していくために関係者の意見が重要なのはなぜですか。

解答 : IT 部門で、組織が使用しているすべての分類のメカニズムを認識し、理解していることは稀です。そのため、関係者の意見が役立ちます。

質問 : Managed Metadata Service の発行によって、2 つ以上のファームが用語セットやコンテンツ タイプを共有することはできますか。

解答 : はい、できます。

質問 : いくつかの異なるサイトのメタデータとしてユーザーが適用するために部門のリストが必要な場合、部門リストをどのように作成できますか。

解答 : 2 つの選択肢があります。ユーザーが必要とするどんなリストやライブラリにも列を適用できるような、サイト コレクション内の十分に高いレベルに、選択肢の種類として部門のリストを使用してサイト列を作成することができます。また、部門をリストする用語セットを作成し、部門を必要とするあらゆるリストに管理されたメタデータ タイプ列を追加することもできます。

第 12 章

ユーザー プロファイルの構成

目次

レッスン 1 : User Profile Service アプリケーションの構成	12-2
レッスン 2 : ユーザー プロファイルと対象ユーザーの管理	12-3
復習とまとめ	12-4

レッスン 1

User Profile Service アプリケーションの構成

レッスン 2

ユーザー プロファイルと対象ユーザーの管理

復習とまとめ

質問：Active Directory ユーザー プロファイルの同期を構成する前のファーム アカウントに対する要件は何ですか。

解答：ファーム アカウントは、最初の User Profile Synchronization Service が開始される前に User Profile Synchronization Service を実行するサーバーのローカル Administrators グループのメンバーである必要があります。

質問：どのような場合に、追加のユーザー プロファイル プロパティを作成する必要がありますか。

解答：特定のユーザーの追加情報が必要であるにも関わらず目的に合ったプロパティが存在しない場合などです。

質問：どのような場合に、信頼できるホストの場所を構成する必要がありますか。

() 別の場所に格納されているドキュメントなどのコンテンツを信頼するように個人用サイトを構成する必要がある場合。

() 複数のファームが存在し、それぞれに User Profile Service アプリケーションがあるが、ユーザーは1つの個人用サイトのみを使用する必要がある場合。

() 追加のリンクを個人用サイトのナビゲーションバーに表示したい場合。

() 個人用サイトの情報を Active Directory に公開する必要がある場合。

() プロファイル データの追加のソースを指定する必要がある場合。

解答：

() 別の場所に格納されているドキュメントなどのコンテンツを信頼するように個人用サイトを構成する必要がある場合。

(√) 複数のファームが存在し、それぞれに User Profile Service アプリケーションがあるが、ユーザーは1つの個人用サイトのみを使用する必要がある場合。

() 追加のリンクを個人用サイトのナビゲーションバーに表示したい場合。

() 個人用サイトの情報を Active Directory に公開する必要がある場合。

() プロファイル データの追加のソースを指定する必要がある場合。

第 13 章

エンタープライズ検索の構成

目次

レッスン 1 : Search Service アーキテクチャの理解	13-2
レッスン 2 : エンタープライズ検索の構成	13-3
レッスン 3 : エンタープライズ検索の管理	13-4
復習とまとめ	13-5

レッスン 1

Search Service アーキテクチャの理解

レッスン 2

エンタープライズ検索の構成

レッスン 3

エンタープライズ検索の管理

復習とまとめ

質問：ドキュメントの解析をおこなうのは、どの検索アーキテクチャ コンポーネントですか。

- ☐ クロール コンポーネント
- ☐ コンテンツ処理コンポーネント
- ☐ 分析処理コンポーネント
- ☐ インデックス コンポーネント
- ☐ クエリ処理コンポーネント

解答：

- ☐ クロール コンポーネント
- ☒ コンテンツ処理コンポーネント
- ☐ 分析処理コンポーネント
- ☐ インデックス コンポーネント
- ☐ クエリ処理コンポーネント

質問：検索センター サイトの展開時に自動的に作成されるパーティカル検索ページは次のどれですか。

- ☐ 会話の検索結果ページ
- ☐ 既定のクエリ ページ
- ☐ 既定の検索結果ページ
- ☐ ローカルのひとの結果 (システム)
- ☐ ローカル ビデオの結果 (システム)

解答：

- ☒ 会話の検索結果ページ
- ☐ 既定のクエリ ページ
- ☐ 既定の検索結果ページ
- ☐ ローカルのひとの結果 (システム)
- ☐ ローカル ビデオの結果 (システム)

質問：管理プロパティのコンテンツを検索結果で返せるようにする管理プロパティは次のどれですか。

- ☐ 検索可能の詳細設定
- ☐ クエリ可能
- ☐ 絞り込み可能
- ☐ 取得可能
- ☐ 検索可能

解答：

- ☐ 検索可能の詳細設定
- ☐ クエリ可能
- ☐ 絞り込み可能
- ☒ 取得可能
- ☐ 検索可能

第 14 章

SharePoint 2013 環境の監視と保守

目次

レッスン 1 : SharePoint 2013 環境の監視	14-2
レッスン 2 : SharePoint 環境のチューニングと最適化	14-3
レッスン 3 : キャッシュの計画と構成	14-4
レッスン 4 : SharePoint 2013 環境のトラブルシューティング	14-5
復習とまとめ	14-6

レッスン 1

SharePoint 2013 環境の監視

レッスン 2

SharePoint 環境のチューニングと最適化

レッスン 3

キャッシュの計画と構成

レッスン 4

SharePoint 2013 環境のトラブルシューティング

復習とまとめ

質問：ルールを使用して潜在的な構成の問題を検出する監視用のツールと機能はどれですか。

- ☐ SharePoint Health Analyzer
- ☐ 診断ログ
- ☐ Usage and Health data collection
- ☐ パフォーマンス カウンター
- ☐ ULS Viewer

解答：

- ☒ SharePoint Health Analyzer
- ☐ 診断ログ
- ☐ Usage and Health data collection
- ☐ パフォーマンス カウンター
- ☐ ULS Viewer

質問：データ ストライピングとディスク ミラーリングの両方を提供する RAID 構成はどれですか。

- ☐ RAID 0
- ☐ RAID 1
- ☐ RAID 5
- ☐ RAID 6
- ☐ RAID 10

解答：

- ☐ RAID 0
- ☐ RAID 1
- ☐ RAID 5
- ☐ RAID 6
- ☒ RAID 10

質問：メディア資産のコピーをディスクに保存する SharePoint キャッシュ メカニズムはどれですか。

- ☐ BLOB キャッシュ
- ☐ ページ出力キャッシュ
- ☐ オブジェクト キャッシュ
- ☐ 分散キャッシュ
- ☐ ビュー ステート キャッシュ

解答：

- ☒ BLOB キャッシュ
- ☐ ページ出力キャッシュ
- ☐ オブジェクト キャッシュ
- ☐ 分散キャッシュ
- ☐ ビュー ステート キャッシュ

質問：SharePoint 2013 イン트라ネットを参照すると、ページに [HTTP 500 内部サーバー エラー] と表示されます。この問題の調査に役立つ診断ツールはどれですか。

- ☐ Microsoft メッセージ アナライザー
- ☐ Microsoft ネットワーク モニター
- ☐ IIS の失敗した要求トレース
- ☐ Internet Explorer F12 開発者ツール
- ☐ SharePoint 開発者ダッシュボード

解答：

- ☐ Microsoft メッセージ アナライザー
- ☐ Microsoft ネットワーク モニター
- ☒ IIS の失敗した要求トレース
- ☐ Internet Explorer F12 開発者ツール
- ☐ SharePoint 開発者ダッシュボード